

体験型「森林環境教育」を実践!! ～” 森の探検隊”を行いました～

木々の色づきが増す中、令和6年11月21日、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」において、豊能町立東能勢小学校5年生16名の児童たちと、『森の探検隊』を実施いたしました。

『森の探検隊』とは、参加者が5～10人程度の班に分かれて森の中を探検し、各地に設置された「指令書」に従って、森林にまつわる謎を解いていくという森林環境教育プログラムです。各班にはそれぞれ職員がついており、「指令書」にまつわるヒント出しや答え合わせなどを行いながら、参加者は森林について知識を深めていきます。

今回は、班ごとにマップ係やカメラ係、メモ係など役割を決め参加していただきました。森の探検隊が始まってみると、指令書に関わらず道端の草や木について質問するなど、好奇心旺盛な子供たちの様子に私たち職員も一緒に楽しむことができました。指令書には難しい問題もありましたが、意見を出し合いながら考えることで、しっかりと正解にたどりつくことができました。

次に、シカの食害や外来種による生物多様性の問題について講義を行いました。シカの食害による草木の種類の単一化や、外来種による在来生物の駆逐を防ぐために、捕獲、駆除を行っているということや、処分したシカや外来種を有効活用するのが難しいことなど、小学5年生には難しい話もありましたが、皆さん真剣に聞いてくれました。

体験した子どもたちからは「もっといろんなところに行きたかった」「違うルートに行ってみたかった」「まだまだ探検し足りない」などの感想があり、今回の体験を経て、森林に対する興味関心を育むことができました。人の手で森を守ることの大切さや、命に対する責任などについて、少しでも考えるきっかけになればさらにうれしく思います。

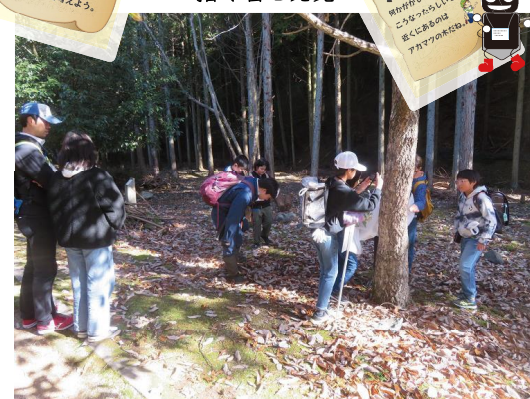
出発!



『森の探検隊』開始!



指令書を発見



職員より説明 (シカの食害について)

カブトムシ里親まつり（植樹編）を開催



例年より遅い紅葉が見頃となった令和6年12月1日、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」で『カブトムシ里親まつり（植樹編）』を開催し、6家族13名の方々に参加いただきました。今回はこれまでに開催された「飼育編」「放虫編」を通して参加して下さった方々がたくさんおられました。

始めに、花の谷周辺の自然散策を楽しみ、NPOクワガタ探検隊の西さんから、どんぐりやこの時期に咲く赤いサザンカの花など植物の解説を聞き、興味深く見入っていました。その後、西夫妻による創作紙芝居「マンモスくんにもらった赤い足」を見た後、クヌギの苗木の植樹を行いました。

植えた苗木がシカに食べられてしまうのを防ぐため大きな苗木を準備したので、参加者は、苗木を植える穴を掘る大変さに困りながらも交代しながら、5本の苗木の植栽をしていただきました。



植物についての説明



創作紙芝居「マンモスくんにもらった赤い足」の上演



参加者の皆様



クヌギの植樹の様子

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail kc_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。

